

日本エム・イー学会平成 16 年度 第 5 回理事会

日時：平成 17 年 3 月 11 日 15 時～17 時  
会場：学会分館 8 号室（東京都文京区）

<出席者>

会長 堀 正二  
副会長 辻岡 克彦  
理事 赤澤 堅造 石原 謙 稲田 紘 上野 照剛 岡田 正彦  
佐藤 俊輔 砂川 賢二 土肥 健純 仁田 新一 林 紘三郎  
山越 憲一 鎗田 勝  
生体医工学誌 山本 克之  
幹事 近藤 寛也 守本 祐司

<欠席者>

副会長 菊地 眞 梶谷 文彦 神谷 瞭 佐久間一郎  
監事 北畠 顕 星宮 望  
国際誌 安藤 譲二  
CE 小野 哲章  
BME 誌 楠岡 英雄  
地方会支部長 栗城 真也 井街 宏 浜田 良機 山内 一信  
佐々木和男 寺本 滋 村上 輝夫

- 1 総務 理事会成立の件（辻岡副会長）  
開会時点で理事出席 14 名、委任状 4 通より理事会成立が確認された。
- 2 総務 前回議事録承認の件（辻岡副会長）  
前回議事録の承認が行われた。（資料 16 - 5 - 2）
- 3 会員 会員入退会状況の件（辻岡副会長）  
入会審査対象者 正会員 4、準会員 2  
種別変更 正会員（準 正）1  
退会 正会員 20、準会員 2  
が承認された。結果  
正会員（国内）2688、正会員（海外）41  
準会員（国内）391、準会員（海外）1  
維持会員 26 社 35 口  
顧問 13、名誉会員 41、名誉会員(海外) 2  
となることが確認された。（資料 16 - 5 - 3）
- 4 学術 専門別研究会（佐藤理事）  
新規の申請が 1 月 31 日に締め切られ、その結果、平成 17 年度の専門別研究会は、  
継続 18 件 新設 4 件 終了 1 件であり、活動費 150 万円になることが報告され、  
承認された。また、各専門別研究会は 3 月 31 日までに報告書を提出するというこ  
とで合意された。次回の理事会で報告書内容につき説明される予定。（資料 16 - 5 - 4）
- 5 用語 日本医学会分科会用語委員会報告（佐久間理事 代 堀会長）  
上記委員会で行われたことが報告された。（資料 16 - 5 - 5）  
医学用語辞典の改定方針の説明。  
ME 学会から ME 用語辞典を用語委員会に提供した。

- 6 (A) 文科省の实地調査報告 (堀会長)  
 文部科学省による日本エム・イー学会の实地調査が、平成 17 年 2 月 23 日に実施され、その結果、総合評価は
- (1) 法人業務の運営状況 B
  - (2) 事業内容および実施状況 A
  - (3) 会計処理、収支および資産の状況 B
  - (4) 予算および決算の状況 A
- であること、ならびに改善を要する事項が報告された。それを受けて学会事務局から、対応に関する説明が以下のようになされた。
- 資産総額の登記、規則関連等は改善要求に対しては、即時対応可能であること  
 「独立した事務局」の設置要求に対しては、経費上、現実的でないこと  
 さらに学会事務局より、文科省の改善要求を受けて、以下の提案がなされた。
- 学会専用電話の設置 (3500 円/月)
  - 職員就労に関する契約書を作成し、週 3 日程度、専従させること
  - 専従スペースを確保するために、移動式パーティションを使用すること
  - 書籍・書類の保管は、日常業務外のは貸倉庫に移動すること (64000 円/年)
- 審議の結果、上記の提案を実施することで合意された。(資料 16 - 5 - 6 )

- (B) 学会名称変更にもなう内外へのアナウンスについて (堀会長)
- 4 月 1 日より名称変更すること、ならびに、しばらくは「日本生体医工学会 (日本 ME 学会)」と併記することで承認。ただし、定款変更は総会承認後になることが報告された。また、学会名称変更連絡先リストが提示され、追加連絡先として地方支部、各代議員、協賛学会、省庁、国立機関・機構、工学系学会、出版社、マスコミ等も加えられることで承認された。また、ME 教科書シリーズ(コロナ社)の 4 月 1 日以降の発刊分は新名称を冠されることで承認された。なお、今年度の ME 技術実力試験講習会に関しては、受講者等への連絡には旧名称で案内されることも承認された。(資料 16 - 5 - 6 )

- 7 財務 平成 17 年度予算書案 (鎗田理事)
- 収入に関しては、
- |           |              |
|-----------|--------------|
| 会費・入会金収入  | ¥30,289,000  |
| 事業収入      | ¥85,220,000  |
| その他を含めて合計 | ¥116,279,000 |
- 一方、支出に関しては、
- |           |              |
|-----------|--------------|
| 事業費       | ¥95,934,000  |
| 管理費       | ¥9,700,000   |
| その他を含めて合計 | ¥106,234,000 |
- したがって、収支差額は ¥10,045,000  
 であることが報告された。

加えて、引き続き理事交通費はゼロでいくこと、ペイオフ対策は登記を変更してから対処すること、論文の pdf 化に関連する作業は学会誌刊行センターに業務委託することが報告され承認された。その他、維持会員に対して会費納入を催促していく方向で確認された。なお、収入の一部を決済性預金にするか否かを、会長ならびに事務局と相談の上、決定していくことで承認された。(資料 16 - 5 - 7 )

- 8 規約 定款変更に伴う内規の変更 (岡田理事)
- 定款の変更点につき、以下の報告がなされ全会一致で承認された。(資料 16 - 5 - 8 )
- <変更点>
- ・ 第 1 章 総則 第 2 条 [事務局住所変更 (東京都新宿区改代町 2 6 番 1 号)]
  - ・ 内規 付則 2 [定款変更日付]

- ・入退会および会員種別変更規定 第 8 条 [ ・ ・ 定款第 10 条 4 ) ・ 款第 10 条 3 ) ・ ・ ]
- ・ 会長選出規定 第 1 条 [ ・ ・ 定款第 14 条 ・ ・ ・ ・ 定款第 16 条 ・ ・ ]
- ・ 同 第 10 条 [ ・ ・ 定款第 14 条第 1 項 ・ ・ ・ ・ 定款第 16 条第 1 項 ・ ・ ]

- 9 CE 「臨床 ME 専門認定士」の認定について (CE 小野委員長 代 稲田理事)  
新たに 39 名の認定が承認された。また、来年度第 1 種 ME 技術実力検定試験が 2005 年 6 月 12 日 (日) に行われることが報告された。(資料 16 - 5 - 9 )
- 10 企画 医療技術開発推進委員会の新設 (菊地副会長 代 砂川理事)  
厚生労働省と経済産業省が合同で次世代医療機器の重点投資領域に関して検討している。前回の理事会で、この検討会に提言するための委員会がエム・イー学会内で新設されることが認められたが、今回、委員会委員が組織され、承認された。なお、他学会との共同に関しては、活動開始後に見直していくことで承認された。(資料 16 - 5 - 10)
- 11 選奨 各選奨委員会の現況報告 (仁田理事)  
荻野賞候補 6 名で一次選考中、論文賞・坂本賞候補 29 名で二次選考中、新技術開発賞候補 3 件で一次選考中、研究奨励賞 18 名で二次選考中であることが報告された。次回の理事会では最終候補者が承認される予定。 資料なし。
- 12 選挙管理 役員・評議員選挙結果報告 (土肥理事)  
有効投票数 564 通であり、M 系理事 3 名、E 系理事 6 名、評議員 122 名が発表され、承認された。なお、会長推薦評議員の選定に関しては (最大 47 名) 会長と副会長とで検討いただき次回理事会で報告承認することとした。(資料 16 - 5 - 12)
- 13 編集 生体医工学投稿規定の改定等 (生体医工学 山本委員長)  
生体医工学と BME の統合に伴う検討事項につき、ワーキングメンバーによって検討され、以下のような報告がなされた。  
1 BME と生体医工学統合等に伴う投稿規程の改定内容  
2 別刷 PDF ファイルの有料配布等について  
審議の結果、投稿規定の改定が承認された。併せて、3 月号は旧名称、6 月号より新名称にされることで承認された。また、有料配布にかかる費用は学会誌刊行センターの収入とすることで了承され、pdf 発行に伴って生じると予想される諸問題の対応については、再度ワーキンググループで検討していくことで合意された。  
加えて、山本委員長より以下の報告がなされ、承認された。  
3 BME と生体医工学にともなう雑誌の新体裁  
4 編集委員会の新体制  
5 雑誌の英文タイトルについては当面、現名称のままとすること。(資料 16 - 5 - 13)
- 14 第 44 回大会 (上野理事)  
準備状況が報告され、全演題数 544 題であること、NEDO のワークショップも開催されることなどが報告された。(資料 16-5-14 および 16-5-14 )  
  
同時開催のアジア太平洋生体医工学大会に関する準備状況が辻岡副会長より報告された。内容は、プログラムが Web にあること、演題の半分は外国人研究者であること、特別講演 3 題、招待講演 9 題、シンポジウム 5 組などであった。  
  
なお、学会開催に際して、省庁からのセッション依頼がありこれが会員のためになると判断されれば積極的に受けるべきとの意見が仁田理事より提案され同意された。
- 15 第 45 回大会 (砂川理事)

第 45 回日本生体医工学大会が、2006 年 5 月 15 - 17 日福岡国際会議場で開催されることが報告され、上記意見（仁田理事）を取り入れていくことが宣言された。

- 16 名誉会員の推薦について（辻岡副会長）  
今回、以下の名誉会員候補者 3 名が推薦され、承認された。  
神谷 瞭 氏、佐藤俊輔 氏、藤正 徹 氏。（資料 16-5-16）

なお、退会を希望されている中野仁雄（九大）先生等、エム・イー学会に貢献の多い先生の退会をとどまるように説得することで了承された。さらに、名誉会員規定に関して、次々回の理事会で見直すことで了承された。

- 17 総務 次回の理事会開催予定の件（辻岡副会長）  
次回理事会（平成 17 年度第 1 回理事会）は、4 月 24 日 1200 - 1330 に開催されることで承認され、この会では、新旧理事が揃う予定であることが報告された。

- 18 その他 協賛・後援（辻岡副会長）
- ・協賛団体の紹介があった。（資料 16 - 5 - 18）
  - ・3 つの財団より応募の案内が来ていることが紹介された。
  - ・27 回日本医学会総会(2007 開催予定)より学術プログラムのアンケートが来るので協力してほしいとのこと。
  - ・その他意見 - エム・イー学会発展のために役立てる資料として、今後、正会員の入退会者プロフィールを明らかにしたらよいのではとの提案が石原理事よりなされ、事務局で把握していくことで合意された。

< 資料 >

- 16 - 5 - 2 日本エム・イー学会第 4 回議事録案
- 16 - 5 - 3 入退会審査対象者
- 16 - 5 - 4 平成 17 年度専門別研究会
- 16 - 5 - 5 平成 16 年度日本医学会分科会用語委員会 報告
- 16 - 5 - 6 文科省による法人資格のための実地検査に関する報告書
- 16 - 5 - 6 学会名称変更連絡先リスト案
- 16 - 5 - 7 平成 17 年度予算書案
- 16 - 5 - 8 定款
- 16 - 5 - 9 第 6 回臨床 ME 専門認定士 認定者名簿
- 16 - 5 - 10 「医療技術開発推進委員会」の新設
- 16 - 5 - 12 選挙結果
- 16 - 5 - 13 「生体医工学と BME の統合に関する諸案件について」
- 16 - 5 - 14 第 44 回日本生体医工学学会大会概要
- 16 - 5 - 14 上記プログラム抜粋
- 16 - 5 - 16 名誉会員規程
- 16 - 5 - 18 協賛学協会名簿